

分野	荒廃山地の復旧等の治山		事業番号	4	事業名	山地治山(復旧治山)		
市町村名	上松町	ふりがな 箇所名	かきわ 空沢		工 期 (年度)	当 初	H11 ~ H15	
当回事業費	123,500 千円		費 用 対 果 効 果	当 初		-	実 績	H11 ~ H18
最終事業費	171,230 千円			評価時	1.89	完了後経過年数	5年	
事業化の目的	空沢本流上流部の荒廃が進み、下流保全対象(人家、鉄道、国道等)への土砂災害が懸念されるようになり、治山事業を実施した。(林道松山線がH10年度に開通し、資材搬入が可能になった。)							
事業等経過	当初計画内容	山腹工 0.30ha , 谷止工 2個						
	最終事業内容	山腹工 0.83ha , 谷止工 4個						
	変更理由	事業実施中にも溪流の荒廃が進み、又新たな山腹崩壊が発生したため。						
評価内容								ランク
事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)								B
事業完了後、山腹工施工地は緑化復元し荒廃溪流も安定したため、下流の保全対象への土砂災害は皆無である。								
事業実施に伴う自然環境の変化(A:環境がよくなった B:影響なし C:影響あり D:影響が大きい)								C
構造物の設置により自然環境への影響はあったが、崩壊地が緑化され自然環境は改善された。								
施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切にされている C:やや不十分 D:適切にされていない)								B
県が必要に応じ点検を実施し、又地元住民より情報提供を受けている。								
地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)								A
工事の必要性、納得度、重要性、満足度について、7割以上の方から評価されている。								
改善措置の必要性(A:改善の必要なし B:小規模な改善が必要 C:大規模な改善が必要)								A
当事業における改善措置の必要性はない。								
事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している -:特になし)								-
特になし。								
部 意 見	崩壊地の復旧、荒廃溪流の整備等を実施したことにより、地域の安全・安心の確保が図れた。			政 策 課 見 評 価 意 見	山腹崩壊地や荒廃溪流が安定し、一定の効果が認められる。			
今後の取組及び同種事業の計画・調査のあり方や評価手法の見直し等								
アンケートの結果、住民の認知度が低いことから、事業の実施に関して、受益者である地域住民へのPRの強化が必要である。								

アンケートの方法及び対象

立町地区の住民62人に対し、アンケートを実施した。

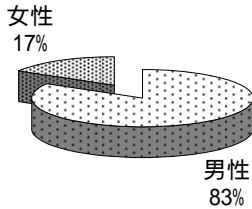
配布数 62

回収数 18

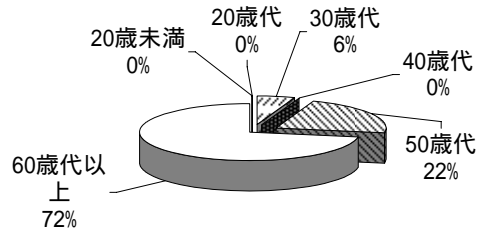
回収率 29% (男性 83% 女性 17%)

アンケート結果

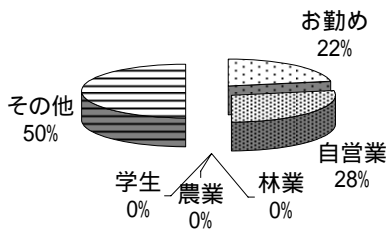
問1 性別



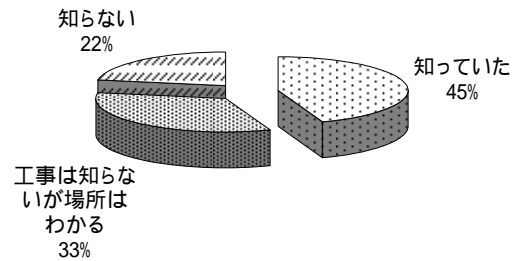
問2 年齢



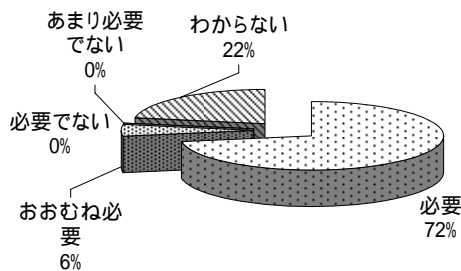
問3 職業別



問4 事業の認知度について



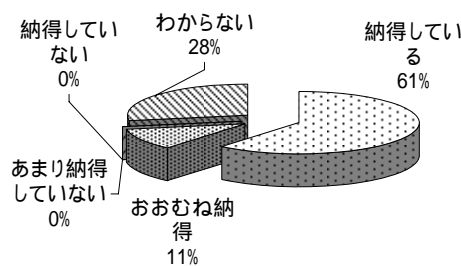
問5-1 事業の必要性について



問5-2 主な理由

- ・ 以前の水害の時に倒木で怖い思いをしたから。
- ・ 空沢下流に住んでおり、大雨が降るといつも不安であった。
- ・ 空沢が崩れると下の方に影響を及ぼす。
- ・ 土石流の恐さはビデオ、資料等でよく知っている。
- ・ 下流住民の生命・財産の保全及び日々の安全確保になる。
- ・ 集中豪雨による土砂災害の未然防止になる。
- ・ 山の崩壊を防止することで下流の住民は安心して生活できる。
- ・ 下流に国道・JR等があり公共性の高い場所である。

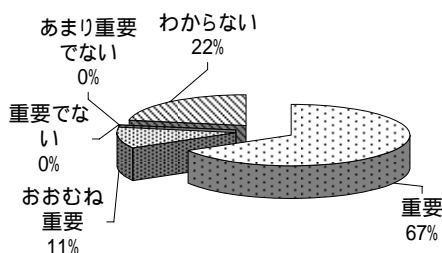
問6-1 事業への税金使用について



問6-2 主な理由

- ・ 住民の安全確保のために税金の使用は当然。
- ・ 自分たちの地域の工事なので。
- ・ 公共の工事であり当然。(税金でやらない方法はあるの?)
- ・ 近年の地震災害等を考えれば当然。
- ・ 町民のためになる工事だから。
- ・ 住民の生命・財産を守るため税金は使われるべきだ。

問7-1 地域社会にとっての重要性について

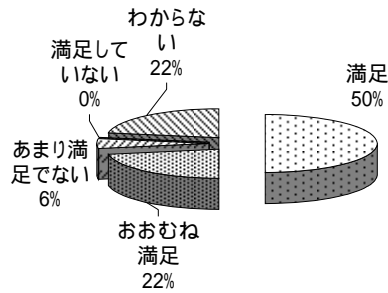


問7-2 主な理由

- ・ 空沢下流に住んでおり、大雨が降るといつも不安だった。
- ・ 人命にかかわる災害を未然に防ぐことは重要。
- ・ 土砂流出防止・水源の涵養を考えると重要。
- ・ 自分の生活の場を守る工事だから。
- ・ 住民の安全・安心のための工事だから。

## アンケート結果

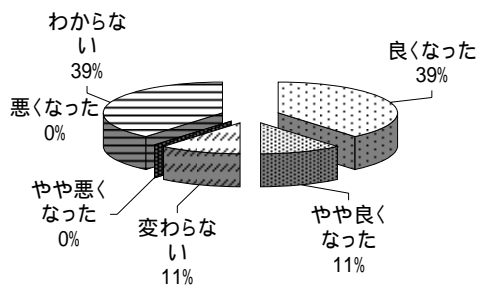
### 問 8 - 1 事業の完成結果について



### 問 8 - 2 主な理由

- ・ 下流住民の不安に対し、県が対応してくれたことに感謝。
- ・ (工事が完了し) 自分大丈夫と思われるから。
- ・ 最近の異常気象を考えるとよく実施してくれたと思う。
- ・ 沢の左右岸の森林整備もして欲しい。
- ・ 自分の山でもあるから。
- ・ (工事の完成写真を見て) 満足している。
- ・ 沢筋の倒木処理や小崩壊地修復もして欲しい。
- ・ 土石流の心配がなくなった。

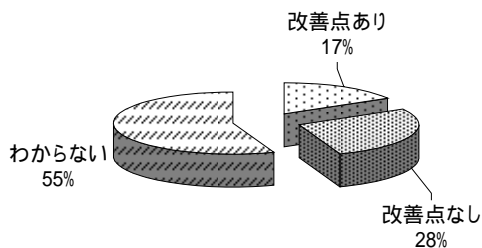
### 問 9 - 1 自然環境の変化について



### 問 9 - 2 主な理由

- ・ 崩壊が止まり、雨が降っても水が濁る割合が少なくなった。
- ・ 工事の施工前後を比べると水環境・景観がよくなった。

### 問 10 - 1 工事の改善について



### 問 10 - 2 主な理由

- ・ 上部の林道が崩落した場合、今の施設で大丈夫？
- ・ 将来的にも(沢の)監視を続けていただきたい。
- ・ 今後老朽化していく施設の改善や、豪雨後の沢の状態の監視。

### 問 11 その他ご意見・ご要望

- ・ 最近の異常気象(ゲリラ豪雨)等を考えれば、税金を投入しての工事も必要と思う。
- ・ 今後とも安全対策は迅速な対応をお願いしたい。
- ・ 木曽谷は急峻な地形が多いので、今後とも安心して生活できる環境づくりに取り組んで欲しい。
- ・ 今後とも山林整備を含めた複合的な山地保全をお願いしたい。
- ・ 沢の中にある倒木・流木の整理をお願いしたい。
- ・ 地域的なゲリラ豪雨の監視体制を充実して欲しい。
- ・ これからも町民からの要望があれば速やかにやって欲しい。
- ・ 報道で他府県の台風被害などを聞くと不安である。町・県一体となって(災害防止に)取り組んで欲しい。

**施工前写真**



山腹工(H11-12) 施工前



H18, NO,2谷止工施工前



山腹工(H15-18) 施工前

**施工後(現況)写真**



山腹工(H11-12) 現況



H18, NO,2谷止工現況



山腹工(H15-18) 現況